

世田谷区 意見を聴く会 議事概要

日時：平成17年2月21日(月) 18時30分～20時30分

場所：世田谷区喜多見東地区会館

主催：国土交通省及び東京都

協力：世田谷区

参加者：住民19名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路事務所長
	秋山 東京外かく環状道路 副所長
	鈴木 東京外かく環状道路 調査課長
東京都	道家 外かく環状道路担当部長
	邊見 外かく環状道路担当課長
	藤井 外かく環状道路担当 課長補佐
世田谷区	栗下 道路整備部長
	青山 道路整備部道路計画課長
	海津 道路整備部道路計画課係長

提示資料： 東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図
 外環ジャーナル第16号、第17号
 東京外かく環状道路(関越道～東名高速間)に関する方針について
 東京外かく環状道路(関越道～東名高速)(狛江市～世田谷区の区間について)
 外環の地上部の街路について
 環境の現地観測結果(四季) **概要版**

次第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

議事概要

1 開会

2 あいさつ

国土交通省

- ・PI協議会が2年間のとりまとめを出し、PI会議が開始した最近の状況について説明したい。
- ・環境調査(四季)に関して報告をさせていただきたい。
- ・昨年の地域毎の話し合いで様々な地域の課題について意見をいただいたが、今回具体的な案を示しながら地域の皆さんのご意見をさらにお聴きし必要性の議論に活かしていきたい。

東京都

- ・計画づくりの早い段階からICなどについてより具体的な案をいくつか提示し、地域の皆さんの意見を幅広く伺って、よりよい計画案にしていきたい。

3 出席者紹介

4 資料説明

5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

【外環の本線について】

- ・人口は今後減少する傾向にあるが、交通量はどうなるのか。
- ・中央環状と圏央道ができれば、外環は不要ではないか。
- ・ルートの変更は考えられるのか。
- ・まず最初に地権者に説明すべき。地権者も交通量が増えることから外環が必要と思っている。
- ・将来交通量を見ると、環八は外環をつくらなくても交通量が減っている。外環を整備することで、この地域への影響を上回る効果があるのか。
- ・将来交通量の予測にあたって、誘発交通を考慮しているのか。
- ・将来交通量はどうやって算出しているのか。

- ・IC計画地近くに住んでいて、粉じんに悩まされているが、長いスパンで見れば外環は必要な道路。
- ・自然環境への影響もあると思うが、早く着工してほしい。
- ・計画線の中で制限を受けている。即着工してほしい。後世にものを残したい。

(回答：国土交通省)

- ・人口は2006年をピークに減少するが、免許や自動車の保有者は今後も伸びるため、交通量は2020～30年がピークになり、その後減少していく。
- ・外環ができることで首都高や環八全体でも交通量は減少すると予測され、外環の整備効果はあると考えている。また、外環を利用する交通の内訳をみると、特に横浜、神奈川と埼玉間を移動する交通が多く、処理するためにも外環が必要と考えている。
- ・外環整備を考慮してODを設定しているので、予測可能な誘発は考慮している。
- ・将来交通量の算出に関しては、PI会議や技術専門委員会で資料を公開している。必要であれば、資料を送付するとともに説明もさせていただく。

【環境影響について】

- ・昨年は異常気象であったため、1年間の環境調査では不十分ではないか。
- ・環境への影響評価に、市民が参加することができるのか。
- ・ぜひ野川の流域連絡会の話聞いてほしい。
- ・世田谷には地域で活動している人が多いが、その人たちが集めたデータを予測評価に活用する気はあるか。
- ・環境調査の観測点は実態とかけ離れていると主張しているが全然反映されていない。
- ・大気の観測地点に関して、次太夫堀公園の観測場所は幹線道路から大きく離れており、また立川崖線と野川の間では大気の観測を一カ所もやっていない。調査箇所を見直す必要があるのではないか。
- ・環境調査結果資料の大気観測結果に関して、調査日の曜日が分からない。資料はもっとわかりやすくつくるべき。
- ・大泉JCT周辺と世田谷の大気状況はほぼ同じであるが、降下煤塵は大泉よりも世田谷の方がひどい状況にある。
- ・今回の環境調査の結果だけで、しっかりと環境影響の予測ができるのかが心配である。
- ・地下水も調査地点が少なすぎる。特に東名の南側の調査箇所が少ない。少しでも心配事があれば調査をすべきではないか。
- ・環境は経年変化を把握することが重要である。世田谷区も環境調査用のデータを完備していない状況であり、調査が足りないものに関しては、追加調査が必要である。
- ・東名JCTにある換気所について、この場所には地下に外環本線がないのになぜ換気所があるのか。

(回答：国土交通省)

- ・昨年は変動の大きい気象ではあったが、幅のあるデータが取れたと考えている。今のデータをベースに検討するが、通年データ、常時観測データ、気象データ等を見ながら予測していくことになる。したがって環境調査は通年観測が行われたら一旦終了する予定である。
- ・今回の環境調査はPI協議会のエリア懇談会で、住民協議員の意見を聴きながら進めている。環境に与える影響は極力少なくなるよう検討する必要があり、対策については、事業実施の段階で沿線住民の皆さんのご意見をお聞きしながら検討を進める。
- ・地域の方々から意見をもらえるのであれば、是非話を聴かせてほしい。また、

データを頂ければ使えるものか検討したい。

- ・NO_x、SPMは大気中で拡散するので、観測地点を密にすれば極端に数値が異なるということはないと考える。
- ・東名JCTの換気所は地下で本線とつながっており、排気ガスの流れを換気所方向へつくり、換気所で処理し地上に出す構造となる。なお、換気所からの影響に関しては、環境影響評価の中で予測評価していく。

【IC検討案について】

- ・ICを設置する場合、通過交通が生活道路に入り込む恐れがあるが、IC周辺の道路整備はするのか。
- ・東京ICと近いところにもう一つICをつくる必要があるのか。
- ・世田谷通りICを設置した場合、IC周辺の東西方向の交通が増えるのではないか。
- ・地域の話をするなら、交通量等の具体的なデータを出してほしい。
- ・外環本線やJCTが必要なことは分かるが、世田谷通りICはつくらないでほしい。
- ・環境への影響を極力小さくするために、ICはつくらないでほしい。世田谷通り近くは、早朝に大型トラックの騒音がひどい。
- ・料金所はできるだけつくらないで、ETC対応車だけが通行できるようにしてほしい。
- ・世田谷通りICの設置の有無はいつ誰が決定するのか。

(回答：国土交通省)

- ・地域の生活道路等の交通状況については、地域のみなさんの意見を聴きたい。
- ・世田谷ICをつくれれば、IC周辺の交通が増加するという影響のある反面、現在東京ICに集中している交通を分散するという効果もあり、東京ICの負荷を分散することができるという考え方もある。ICをつくと決めたわけではなく、皆さんのご意見をお聴きしたい。
- ・将来のETCの普及状況は現時点で分からないが、仮に料金所をつくることになっても、今よりコンパクトになっていくものと考えている。
- ・ICの設置は、世田谷区と相談した上で国と都で決めていく。

(回答：東京都)

- ・世田谷通りは都市計画どおり整備済。多摩堤通りについて、整備の予定は今のところない。
- ・外環ができれば生活道路の交通量は減るが、ICができれば周辺の交通量は増えるため、対応は地元区と協議したい。
- ・世田谷ICの設置に関しては、狛江市にも意見を聴いていきたい。

【検討の進め方について】

- ・いつ着工できるのか。
- ・最初にもっとも影響を受ける地権者に話を聞きに行くべきではないか。地権者と周りの地域の住民は全く同じ扱いと考えているのか。
- ・結果の裏付けとなる資料は、なるべく出してほしい。

(回答：国土交通省)

- ・現在は必要性の議論の最中であるが、仮に外環をつくることとなれば約1年半都市計画変更手続きにかかる。その後、構造にもよるが、用地買収、工事をあわせて10年はかかる。東名以南は現在の熟度を考えると、これより遅れて進んでいくこととなる。
- ・現在は必要性の議論をしているところであり、地権者も含めて沿線の方々の意見を聴いているところである。地権者については、実際に買収の段階になれば、地権者等に直接話をさせてもらうことになる。
- ・これまでも技術専門委員会等で資料を出しているが、必要に応じて結果の裏

2005.2.24.

付けとなる資料を公表するようにしていきたい。

(以上)